

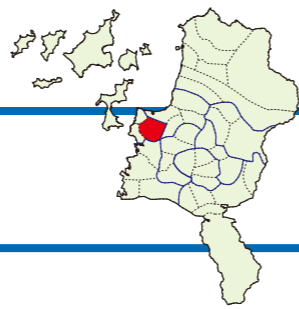
みやまえ

# 宮前地区

面積：2.95 km<sup>2</sup>

人口：14,767人（高齢化率 30.8%）

世帯数：7,022世帯

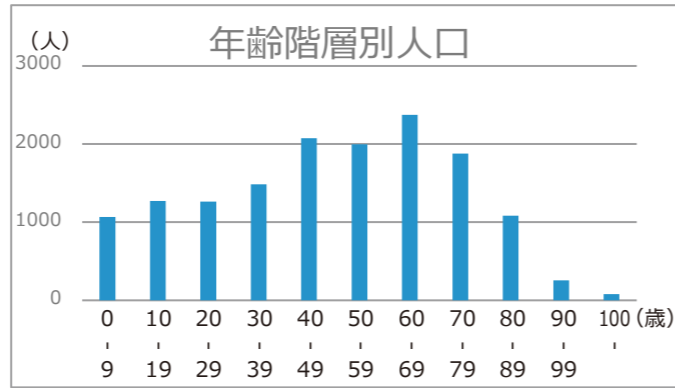


## 【地区の特色】

宮前地区は、松山市の北西部に位置し、松山の海の玄関である三津浜・高浜地区に隣接している。以前は農業を中心とした地区であったが、近年は宅地造成等が進んでいる。また、文楽「伊予源之丞」や虎舞といった郷土芸能、文化財史跡の保存にも力を入れ、あらゆる活動を通して明るく住みよいまちづくりを推進している。



虎舞



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校のグラウンドにて防災訓練を行い、避難経路の確認や炊き出し訓練を行っている</li> <li>・新しい家、若い世代も増えて、一部では子ども会も復活し、三世代交流が行われている</li> <li>・高齢クラブやグラウンドゴルフ愛好者などが、利用する公園や地域の美化に努めている</li> <li>・公民館が中心となって、伝統芸能の伝承活動の支援、サークル活動の発表や個人の作品の展示会など、各種の文化活動が盛んである</li> <li>・交通機関、医療福祉施設、生活関連施設、教育施設等も充実しており、住みやすい</li> <li>・様々な団体との連携、協力体制がよく、役員 OB との連携も継続している</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤の低い一部の地区や道路の狭い地区では、災害など緊急時の避難体制に不安がある</li> <li>・要援護者の把握と支援体制が不十分で、地域防災との連携強化が必要である</li> <li>・町内会加入世帯の減少に伴い、近隣との関係が希薄な地域もある</li> <li>・各団体のリーダーの高齢化が進み、次世代リーダーの育成が遅れている</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々高齢者が増加し、独居高齢者・高齢者世帯の対策が必要</li> <li>・増加する高齢者、要支援者の把握</li> <li>・介護が必要にならないようにするための対策（健康寿命の促進方策）</li> <li>・近所づきあいの希薄化、地域コミュニティ不足への対応</li> <li>・ひとり親世帯や障がい者の実態把握と支援体制</li> </ul>

## 宮前地区社会福祉協議会

次世代へ つなぐ福祉のバトン 温かく

構成団体	地区民協・公民館・PTA・母子会・保護司会・婦人会・高齢クラブ連合会 支所・中学校・小学校・広報連絡協議会・サロン代表者	
主な取り組み	活動内容	
3地区合同施設訪問	毎年、三津浜・高浜・宮前地区が合同で、地区外の福祉施設に入所された地元出身の方々を訪問・激励しています。	
高齢者の見守り活動	民協会と協働して 75 歳以上の高齢者や寝たきり・独居高齢者を訪問して品物を贈り、現況を確認するなど見守り活動を行っています。	
地域団体との連携	地域で活動している様々な団体に助成を行うとともに、情報共有して連携した活動が強化されるよう取り組んでいます。	

## 世代間交流の推進

福祉学習事業の一環として、小・中学校の子どもたちが地域の高齢者や障がい者施設を訪問したり独居高齢者に年賀状を送るなど、世代間交流を推進しています。



## <地区社協が目指すもの>

宮前地区社協は、基本理念を「次世代へ つなぐ福祉のバトン 温かく」とし、人々の心のふれあいを大切に相互支援の輪を広げる活動を推進しています。

当面の課題は、高齢者の寝たきりを防ぐ方策や健康寿命を延ばす活動、また、恵まれない人達への支援など地域福祉の要望に対応できる仕組みづくりを行うことです。そのため、地区内の各組織・団体と福祉課題を共有し、相互に連携した活動の推進に努めること、及び組織の交流によって次世代へつながる人材を育成していけるよう取り組んでいきたいです。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	23名 2名	■町内会・自治会・区長会等 ■高齢クラブ ■子ども会	31団体 4クラブ 23団体
	■まち協の設立	—	■自主防災組織	31組織

J Rと私鉄の駅があり、市内郊外へ出かけるのに便利であると同時に、地区近隣の高等学校へ通う生徒の玄関口となり、朝夕は若者の往来で賑わいます。教育のほか医療、福祉、交通機関等が整備されており住みやすいため、転入者も多くみられる地区です。新たに住民が増えると地区内での関係づくりが問題となりますが、地区内団体間での連携や多世代交流などにより地域力を保っています。地区社協が取り組む世代間交流活動は、保護者が地区外出身者の子どもたちも、地区の一員として生活をしている実感を得る貴重な取り組みとなっています。地域を支える人材育成が世代交代をスムーズにすることが期待されています。

ココがポイント



# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

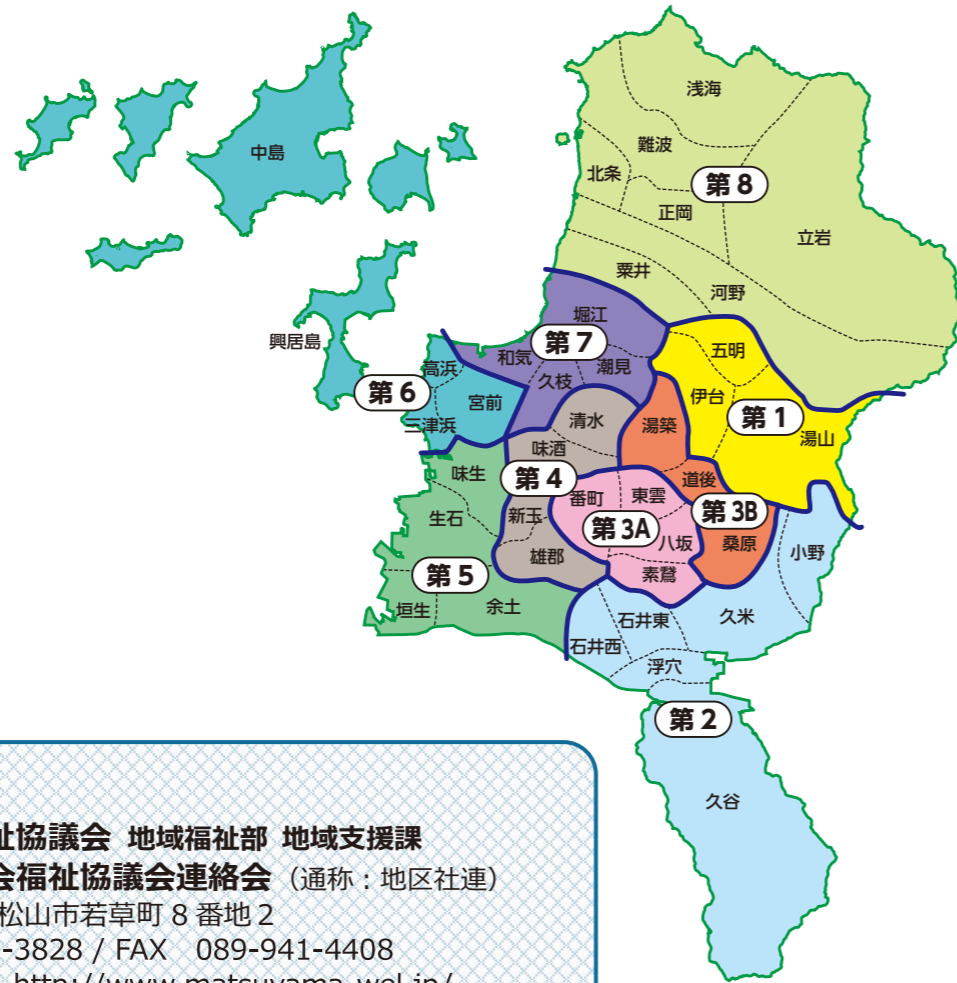
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)  
〒790-0808 松山市若草町8番地2  
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

## <『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

### ①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

### ②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

### ③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

### ④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

### ⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏